

1	調査項目	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
2	現在、森局で管理している治山台帳の数を教えてください。なるべく詳細に回答いただきますと幸いです。	1万3千件 局に全ての台帳があるわけではない。（一部、省で管理）	1万5千100件	16～17万件（うち、内訳：局は2,400件（うち平成10年代）各所は推定14,000件（うち保管）	2万弱、5,000件（うち紙で保管、局では管理していない）	事務所にて管理 1万7千ほど	推定22,239件（13署+4事業所）	約11,000～15,000年ほど ほとんどを各署で保管。
3-1	管理している全ての台帳において、その形式の割合を教えてください。	紙 100%	紙 100% PDF 98% Excel 2%	紙 100%	紙 100%	紙 100% PDF・Excel 不明	紙 100%	紙 100% PDF 10% Excel 1%
3-2	3の備考	・署によってはExcelで作成しているが、データがあるとは限らない →15年前 手書きがほとんど	・署によっては、Excelで作成しているため、データをもたえる可能性もある。	ほとんど紙で取っている。最近は各所によらず、電子化作業中。R3年度末の進捗見込（47%）ハードが壊れる事態になり、復元不可。平成10年以降はエクセルで作成している。	電子化作業中、R3年度末の進捗見込（47%）ハードが壊れる事態になり、復元不可。平成10年以降はエクセルで作成している。	Excelで作成し、紙印刷している。PDFにしてある事務所・署もある。	最近ではエクセルで作成、紙で印刷。20年前以前は手書きでしたが、平成に入ってからエクセルのものがあるかもしれません。割合は分かりません。	近畿中国局と同様。
4	①局で管理している台帳の中で、項目に含まれておらず、システムで管理したい内容はあるか。ある場合、その項目と内容を詳細に教えてください。	工事が完成した年度を入れる項目が欲しい	ダム等の堤か・視察・延長・高さ等（面積）	完成年度 施工：契約年月日 施設：位置情報 →（AAS）位置情報はGISで管理する。 →求まった。	施工：契約年月日 工事内容 面積（m2）	完成年度 契約年月日	北海道、関東と同じ。	特になし
	②各列の必須項目を確認いただき、現在局で管理できない項目が必須となっているかご確認ください。ある場合、その項目を教えてください。	・森林管理局と都道府県は発着入っていない。省で管理なので不要か。林班等は入れている	・北海道と同様。局名は不要、県名、林班、林小帯は必要。	・必須項目は絶対入れたいシステムが働かなくなる。なので調整があるのか。 →（AAS）ない ・国有林の台帳は林班、小帯名は管理されていないため、空欄でも台帳として登録できればいい。 →（AAS）都道府県・市町村・大学・字までは入力できる。	・国有林の台帳は林班、小帯名は管理されていないため、空欄でも台帳として登録できればいい。 →（AAS）都道府県・市町村・大学・字までは入力できる。	・国有林の台帳、国有林のよりに林小帯情報を入れることができる。地区情報が入力された。台帳に大学が書いていない場合もある。 →（AAS）都道府県・市町村・大学・字までは入力できる。 →（AAS）都道府県・市町村・大学・字までは入力できる。 →（AAS）都道府県・市町村・大学・字までは入力できる。	・必須項目は必ず入力なのか。システムに反映される、されないのか。そこが分からなかった。台帳に大学が書いていない場合もある。 →（AAS）都道府県・市町村・大学・字までは入力できる。 →（AAS）都道府県・市町村・大学・字までは入力できる。	特になし
	③各列の入力規則と確認いただき、現在局で管理している項目で入力できない明細である場合、その項目と実際の入力状況を教えてください。	・自由に書けるものはないと思いますが、使っていないものも、昔のデータで完成年度が白で置かれていないので、そこをシステムで管理しているのか。 →台帳に明記されていない内容は、そのまま空白とする。（AAS）	・以前の台帳は北海道と同様。今後は記載する内容を示してもいいの。自由入力もあればいいかなと。 →（AAS）自由入力とは概況（地質・土壌・経緯）のところで。 →（東北）そう。このような入力様式であれば、問題なさそう。	・着手。施工年月日は記載のない年度が多々ある。直近はほぼ入っているが、過去遡るとはほぼ入力されていない。それをシステムでどう管理していくのか。 →（AAS）まずは、台帳をデジタル化するが優先であり、空白の部分があるのは仕方ない。これから項目が入力されていくとしても、システム・データの問題ははっきりしない。	・着手。施工年月日は記載のない年度が多々ある。直近はほぼ入っているが、過去遡るとはほぼ入力されていない。それをシステムでどう管理していくのか。 →（AAS）まずは、台帳をデジタル化するが優先であり、空白の部分があるのは仕方ない。これから項目が入力されていくとしても、システム・データの問題ははっきりしない。	・着手。施工年月日は記載のない年度が多々ある。直近はほぼ入っているが、過去遡るとはほぼ入力されていない。それをシステムでどう管理していくのか。 →（AAS）まずは、台帳をデジタル化するが優先であり、空白の部分があるのは仕方ない。これから項目が入力されていくとしても、システム・データの問題ははっきりしない。	・着手。施工年月日は記載のない年度が多々ある。直近はほぼ入っているが、過去遡るとはほぼ入力されていない。それをシステムでどう管理していくのか。 →（AAS）まずは、台帳をデジタル化するが優先であり、空白の部分があるのは仕方ない。これから項目が入力されていくとしても、システム・データの問題ははっきりしない。	特になし
5	台帳番号の管理 ※台帳番号が、IDとなるか。また現在の運用において台帳番号が検索のために必要な情報になっているかを確認するため、この質問をした。	番号が、現在より多かったので、統合前は同じ年度で台帳番号が読める可能性はある。現在は、台帳番号が読めるという問題はない。	検索合があったため、その前後で台帳番号のつぎ方が異なる	関東は年度ごとの台帳管理で、2～1は令和2年の1番、平成2年の1番～11というように、年度・相違点等の理由で、2～1がたまたま入っている可能性がある。		新ごとに番号を付けている	番号を振っていない	特になし
6	台帳の探し方	台帳番号は利用せず、以下の情報から探し出す ・完成年度 ・工事名称	位置確認、台帳の年度、現場を見ながら台帳を確認	・現場に行きついたら台帳を見る ・山道工は、現地別調査の報告書に、年度が書いてあるのをそれをもとにその周辺の台帳を見る作業を繰り返す		完成年度・工事名称・年度・国有林等の情報から探し出している	他の局と同様、現場に行って被災した施設等を見つけたらその情報を持ち帰り、台帳に乗っているの箇所、また流域別調査の構造物の年度で確認している。	特になし
7	費用シートにおいて、システム上で管理する範囲であれば、諸負費以外の項目（工事経費、支給材料費、直費費）は不要か。	今までの台帳では基本、諸負費のみしか見受けられないので、諸負費のみでもいいかなと。	北海道と同様	今後はもの諸負費だけでいいのかなと。昔の台帳に諸負費より右に書かれているのは、転記が必要かと思えます。	台帳そのままだとなく記入していますが、勘違いによっては諸負費だけでいいのかなと。データを整理している中で、明確な項目名では書かれていない。管理していく上で、入力の際の合計が必要ないかと、どうやって管理するかで打合せが必要になると、実際打合せになった。最近のものには諸負費とプラス（支給材料費等）の合計書で入れている。	工事経費、支給材料費、直費費は不要。工事内容シートが大事。	北海道と同様ですが、諸負費という表記にしないといけないかと。経費を見るのなら、例えば、緊急災害の予算と通常の設備予算の工事があればその合計を取る形にするというのかなと。	特になし
8	工事内容シートに関する意見	台帳には単年度は空白の場合が多い。例えば、面積（m）等、自由入力できる項目（列）が必要	特になし	特になし	基本的にこの内容で進んでいますが、台帳の体系に沿って記入したいという要望が、体系的にはデータとして管理しやすいと思いますが、種別のあるが入力の際、種別の中身の「No1、No2」の入力は複雑になるので番号に入力、切り分けたほうが良いと思う。また種別は土留の工で既にあるので、支給材料費を入れたら、また各工種名は多様な名前であるやうなので、体系に沿って規則性を与えたほうが便利。 単年度は国有林の台帳にほとんどないので、この様式はほぼ国有林の直轄治山事業にかかわること。直轄事業を抱えている局では紙でもなく、台帳に電子データで更新して、情報をあけることなくお渡し、誤りなく移写出できるかと思う（全ての項目読する必要はある）。後は、これに山道の面積（ヘクタール数）項目が入るといいかと（既述の場合）	単年度は入っていない台帳もある。	特になし	特になし
9	施設点検に関して（北海道からの意見あり） また、施設点検の発注方法（データの管理方法）	・今まで点検してきた内容（例えば雪作システムが今はいくつか状況が情報、画像等取り付け等）を台帳に最終的に書けるようにしたい。 ・調査業務を外注に出している。受注者からエクセルデータ、精度・経度の情報と現状を写真が提供されている。	他局と同様	諸負と職員と両方である。紙で作成して管理しているものもあり、すべてがエクセルデータではない。	他局と同様	将来的に近づければ問題は無い。活用できると考える。	他局と同様	特になし
10	事業費区分（種）、支出科目（項、目、細目）に関して、各局でどのような内容を管理されているか。	北海道の台帳には記載はないので、入っていない。	台帳に項目がない。予算管理もしていないので、入力されていない。	支出科目の区別は署によって異なる。特に入っていない明細は入っていない。不要な項目では。	台帳によって入力されているか否かは異なる。入力必須の箇所は入っていない。	入れている署と入っていない署がある。項目に「工事費」は必ず入力されるのでは。	科目に関して、サンプルでは新設とあるが、「工事費」は必ず入力されるのでは。	特になし